

8月2日(水)本年度第5回(通算 第2881回)

ガバナー公式訪問

担当/理事会 18時30分～釧路プリンスホテル

◆お客様と来訪ロータリアン

成瀬 則之君(2017-18年度 第2500地区 ガバナー) 漆崎 隆君(第7分区ガバナー補佐)
池田 真哲君、近藤 昌義君(地区副幹事) 渡辺 雅樹君(ガバナー補佐幹事)
中島 裕君、斎藤 慎也君(釧路北 RAC)

◆出席報告【会員総数 78名 免除 6名 出席計算に用いた会員数 78名】

本日の出席率 出席者名 50名 メーキャップ 2名 出席率 66.7%
前々回の修正出席率 出席者名 37名 メーキャップ 24名 出席率 78.2%

【メーキャップ】

7/14 (東京小石川 RC) 菊池 美恵子さん 8/1 (釧路東 RC) 松原 久幸君

◆ニコニコ献金(今年度累計 160,000円)

- ・成瀬ガバナーよろしくお願ひします ～森山 義文君、萩原 昭博君
- ・成瀬ガバナーようこそ釧路北 RCへ ～鈴木 圭介君、長内 信辰君、平井 昌弘君
- ・成瀬ガバナーお待ちしております ～石井 東洋彦君
- ・成瀬ガバナーようこそ！よろしくお願ひします ～高橋 貢君
- ・皆様今日+1日よろしくお願ひします。
霧フェスで来て頂いた方々ありがとうございました。楽しかったです ～伊藤 尚嗣君
- ・成瀬ガバナーお疲れ様です ～田村 憲一郎君
- ・成瀬ガバナー本日ありがとうございます ～佐渡 正幸君
- ・成瀬ガバナーようこそ釧路へ ～泰地 浩幸君
- ・石井さん喜寿おめでとうございませう ～坂入 信行君
- ・ガバナー公式訪問ようこそ ～中嶋 嘉昭君
- ・ちょうど一年です。ありがとうございます ～中島 仁実君

◆会長挨拶

《森山会長》



会長挨拶いたします、先週は今年度の出発式ということで退院されて間もない田村パストはじめ多くのパスト会長の皆様方より激励のお言葉をいただき大変ありがとうございました。

私にとってはパスト会長の皆様方からの言葉はまさに四つのテストそのものでした、特にみんなに公平か、好意と友情を深めるか、を実感した本当にロータリーの友情を与えていただいた時間でした。出発式にいただきましたパスト会長の皆様方の励ましの言葉こそが釧路北 RC が 60 年間築きあげてきたロータリーの友情という伝統そのものなんだと

いうことを実感した出発式でした。一年間頑張ろうという気持ちを新たにいたしました、企画していただいた本間委員長をはじめ親睦委員会の皆様本当にありがとうございました。

さて本日は成瀬ガバナーをお迎えしての公式訪問例会です、成瀬ガバナーには広い2500地区を連日精力的に移動し各クラブの公式訪問例会にご出席され本当にご苦労様です。本日は16時30分から会長幹事懇談会、17時からクラブ協議会を開催し、例会にご出席いただいております。大変お疲れと思われそうですがどうぞよろしく願いたいと思います。

私共釧路北RCは今申し上げた通り、会員が熱い強いロータリーの友情で結束し支えられているクラブですので、どうぞリラックスして例会時間を過ごしていただきたいと思えます。後ほど成瀬ガバナーにはご講演していただきますのでどうぞよろしく願いたいと思います。

以上会長挨拶を終わります、どうもありがとうございました。

◆幹事報告

《鈴木幹事》



8月第1例会の幹事報告をいたします。

1. 成瀬ガバナーより御祝儀を頂いております。
2. 8月の残り3回分の出席予定表を回覧しております。
4. 記念日プレゼント希望確認表を回覧しております。
5. 釧路北ローターアクトクラブ第3回例会のご案内を回覧しております。
6. 浜中RCより会報と8月プログラム、釧路南・釧路東・釧路西・釧路ベイRCより例会プログラムが届いていますので回覧しております。
7. 地区大会のご案内が届きましたので、回覧しております。
8. 本日、例会終了後、5階にて写真撮影を行いますので、例会終了後ご移動お願いいたします。

ガバナー公式訪問

【バナー交換】



【ガバナーご講演】



まずもって、北ロータリークラブにおられます足立パストガバナーは命の恩人であります。ロータリーの行事により、シカゴに行った際に、妻が急病を患いました。その際に、足立パストガバナー夫妻による献身的な処置をして頂きました。成田についたさいに、足立パストガバナーから「余計なことは一切話さず、すぐに救急車で病院に運びなさい」と言われました。成田の近くの日赤病院に運ばれた際に、医者から「あと2時間ほど遅ければ危なかった」と言われたのであります。入院は12日間に及びました。病名は、インフルエンザによる肺炎でした。改めて、この席において足立パストガバナーに御

礼を申し上げます。彼女が今あるのは、足立先生のおかげです。

先程、幹事から地区大会のご案内がありました。地区大会のPRをちょっとだけさせていただきます。今回は、記念講演として佐賀県有田町から十五代酒井田柿右衛門さんをお呼びしました。本来は14代のお父様に来ていただきたかったのですが、お父様は他界されております。酒井田柿右衛門というのは、代々その名前を付けておられまして、今15代49歳でございます。14代・13代であるお父様・おじい様は共に人間国宝であります。由緒正しく、445年続いているとのこと。この当主になるのに必ずやらなければならないことがあり

ます。柿右衛門釜というのは白字に朱の色を入れるのが、伝統とされています。その朱の色に微妙に違いを入れていくというのが当主に課せられた任務なんだそうです。15代49歳は現在、それで一生懸命、苦悩しております。なったばかりなので、この間パリで展覧会を開いて、その後札幌三越で個展を開いて、ちょっとは、ほっとされていると思うのですが、柿右衛門釜というのは総勢90名を率いる企業でありますから、その経営にも奔走されております。「経営哲学ってなんかありますか。」と聞いたところ、「それどころではありません、今、一生懸命、やらせていただいております。」との事です。今回の網走の地区大会が、彼の初めての講演となります。どうぞ、皆様、彼の苦悩等のお話を聞きにご参加ください。余談ではありますが、父の作品と私の作品を持っていきたいといわれたのですが、丁重にお断りしました。なんせ、運送にかかる保険が数千万円かかるということなので、ガバナー事務所では負担できません。その代りとして、映像を持ってきていただくこととなりました。彼は、もともと写真家志望だったようです。あと、30年くらいすると人間国宝になるのではないかと思います。

今回、私は、活動計画書の冒頭に「ポリオに終止符を」と書かせて頂きました。私自身、そんなにポリオに関心が深くあるわけでもなく、周りから、どうしろこうしろと言われた訳でもないのです。ノミニーになったくらいから、色々、ホームページを見ていました。その中で、東京麹町ロータリークラブ、この記録を開いたときに胸を打たれる思いがしました。

表敬訪問で回る67クラブのすべてで、このお話をさせていただこうと思っております。漆崎ガバナー補佐は何回も聞いているとおもいますので、口を開けて寝て結構です。1980年くらいのお話からさせていただきます。1982年、東京麹町ロータリークラブに山田ツネ会員と峰英二会員というお二人の会員がおりました。当時3Hプログラム、これのボランティアとして南インドのマドラスで麻疹の撲滅をするということになりました。4週間インドにこの二人が派遣されました。昼間は、色んな活動で回りが目に入らなかったのだと思います。夜の帳が降りたころ、まわりからガサゴソという音が聞こえてきます。カーテンを開いてみると、二人は絶句しました。当時、1980年代、インドではポリオが猛威を振るっていました。そのガサゴソという音は、足が不自由な幼児が、地べたを（ほふく前進のような）這う音だったのです。二人は言葉を無くしました。なんて、可哀そうなんだろうと思いました。4週間経って、二人は日本へ帰ってまいりました。その時のことを、理事会や時の会長にお話をされたんでしょう。翌年、1983年に麹町ロータリークラブ15周年記念事業をすることになりました。お二人は強く会長に申し出て、会長はそれを受けてポリオワクチンをなんとかインドにもって行って子供達を助けたい。との事で、とりあえず5000人分を用意しました。そしてインドのマドラスへ向かいます。向こうではマドラスロータリークラブが支援をされていました。1カ月間にわたって、不眠不休でお二人はポリオワクチンを子供達に与え続けました。寝ているんだか、起きているんだか、死んでるんだか、生きているんだかわからない状況で活動し続けました。手だけがなんとなく動いている状況だという手記が残っています。帰りの飛行機の中で、死んだように眠り続けたんだそうです。帰国してすぐに、麹町ロータリークラブのそのことを報告します。また、クラブはRIに報告します。RIはどういうことをしたかという、その当時国際奉仕事業に何百というプログラムがあったんだそうであります。その中で、このポリオ撲滅活動が優先順位一番ということになりました。それから1986年から向こう5年間で、ポリオと5つの伝染病、はしか・ジフテリア・百日咳等を撲滅するため世界中で1億2千万ドル募金キャンペーンを張りました。私は、網走ロータリークラブ2代目のガバナーであります。初代は、1987年から1988年に秋永智徳というものがガバナーをしておりました。この期間がすっぽりとキャンペーンの中におさまっていました。先輩の話では、募金に上からの強い要請があったそうです。日本からはかなりの浄財が集まったのだと思います。日本は48億9千万円を集めました。1991年6月30日をもってこのキャンペーンが終わりますが、1億2千万ドルを集めようとしたんですが、なんと2億1700万ドル世界中から集まったそうであります。みなさんご承知のように、今でもポリオ撲滅活動はやっております。野生種のポリオ常在国というのは、3か国程度になっていますが、1980年代いったどのくらいの国にポリオがあったかご承知でしょうか。世界中で125か国、およそ35万人の子供たちが恐怖に

震えながら生活していた、このインドのお話では、姥捨て山ならぬ、子捨て山があったそうです。こういうことも書かれていました。私はこの文章を読んで、R Iに先駆けて、いの一番にポリオを撲滅しよう。この幼い子供達を救おうと初めに思ったのが日本人であります。この心、信念だけは次に伝えたいというふうに思っています。私自身は、どっか行ってボランティアやるとするのは、たぶん出来ません。ポリオ常在国は、内戦の厳しいところでありまして、そこに行って何かをするという訳には参りません。ただ、一人でも多くの子供達が助かってほしいという気持ちだけをもって財団のポリオというところに寄付をしたいと強く思いました。財団委員長に援護射撃になったかわかりませんが、日本人が各国に先駆けて、このポリオとしっかりと対峙したこの信念と熱情だけは、次につなげていかなければと考えております。みなさんご理解頂きたいと思っております。この地球上からポリオをなくしたいと願っております。どうぞよろしくお願いたします。

次に、ロータリーの友8月号をご覧になっているでしょうか。ここに、私と同期のガバナーの記事が掲載されています。日本で一番新しい地区であります。2840地区というのがございます、ここの田中久夫というガバナー、この人は伝説の会長といわれている人です。なぜ、そう言われているのか、お話にお付き合いいただきたいと思っております。彼は、高崎ロータリークラブに所属しております。群馬県というのは、前橋市と高崎市がライバル関係にあります。高校も前橋高校と高崎高校、地元ではマエタカ・タカタカというんだそうですが、これが前から定期戦をずっとやっているんだそうです。前橋ロータリークラブは、伝統と歴史のある会員百名を超えるクラブであります、一方、高崎ロータリークラブは彼が会長になったとき64名からスタートします。その後、彼が集めたのは51名であります。115名という大所帯となったということです。その張本人が、この人であります。私は田中ガバナーの同期でありますので、親しくさせていただいております。この方、高崎経済大学の経済学の博士号を持っています。この方に秘訣はなにかと聞いたところ、「まずは例会を楽しくすることでしょう」というふうにおっしゃいました。ただ、この話には裏があります。彼は、ガバナーの同期会のときに、こんなお話をしてくれました。会長になったときに、会員増強に係るプログラム・例会すべての委員長を集めて膝談判をしたんだそうです。どうしたら例会がうまくいくのだろう、どうしたら会員が増えるのだろう。そうした膝詰談判が何回かあったときに、とりあえずこういう例会をやってみようというプログラム委員長に指示し、そういうふうになっていくと、うちのクラブ面白いと思う若い会員がロコミで外に広げるようになったとの事です。次から次へと会員が入るようになったとの事であります。結果51名の純増となったそうです。ありえないような話なんです、日本全国から卓話に来ていただきたいとか、会員増強の秘訣を教えてくださいといった声が殺到しているそうです。私の同期には、すごいガバナーがいるんだとつくづく思いました。

釧路北ロータリークラブ、30代が7名、40代が22名、この若さは2500地区ではトップクラスの若さです。女性会員もいらっしゃる。森山会長は、おっしゃいました。棺桶に足を突っ込んだけど、元気になったから、なんとかしっかりしたいと。森山さん、60代目の会長、私も60代目の会長であります。1953年11月10日が網走ロータリークラブの創立記念日であります。なんとなく、ご縁があると思っております。釧路北ロータリークラブ

はバランスが取れているのと同時に色んな方がしっかりされている。活動計画書をみてもきちっとしている。非常に勉強になるなと思っております。浅学菲才な私にはついていけないと思っております。そして、60周年に向けていろんなことをやっていきたいという、またはガバナー補佐を出さなければならない、IMもある、そういう色んな思いを含めて会長はひっぱろうとしている。私は、なにかをやるときに必ず思うのですが、思いを言うだけではなく、双方向で思いを伝えあえる、そんな人間になりたい、そういうふうに常に思っています。

クラブ協議会に出ることが非常に楽しみです。2500地区のすべてのクラブに寄り添えるようになっていくというのが、私の思いであります。信念だけはぶれないようにしたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。